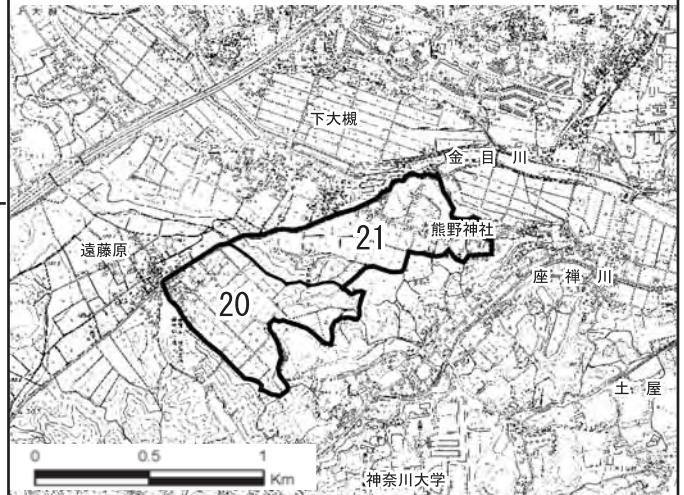


大地区Ⅳ 金目川段丘

【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	C	A	D	D
C	人とのかわり	景観	ふれあい	人文
	C	A	C	E

【地区位置】





	内 容
総合評価	農地を主体とする自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。里山らしさがある程度残されている。
自然評価 総評	畑地として利用されている平坦面と段丘崖からなる。平坦面は、遠藤原台地の中核をなし、段丘崖に続く樹林は緑の中核となっている。 大部分が畑地であり、草地の指標種がおもに生息、生育している。里山の自然を縁どる環境となる。
人との かわり 評価総評	畑地を主体とする里山の景観がよく残されている。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。

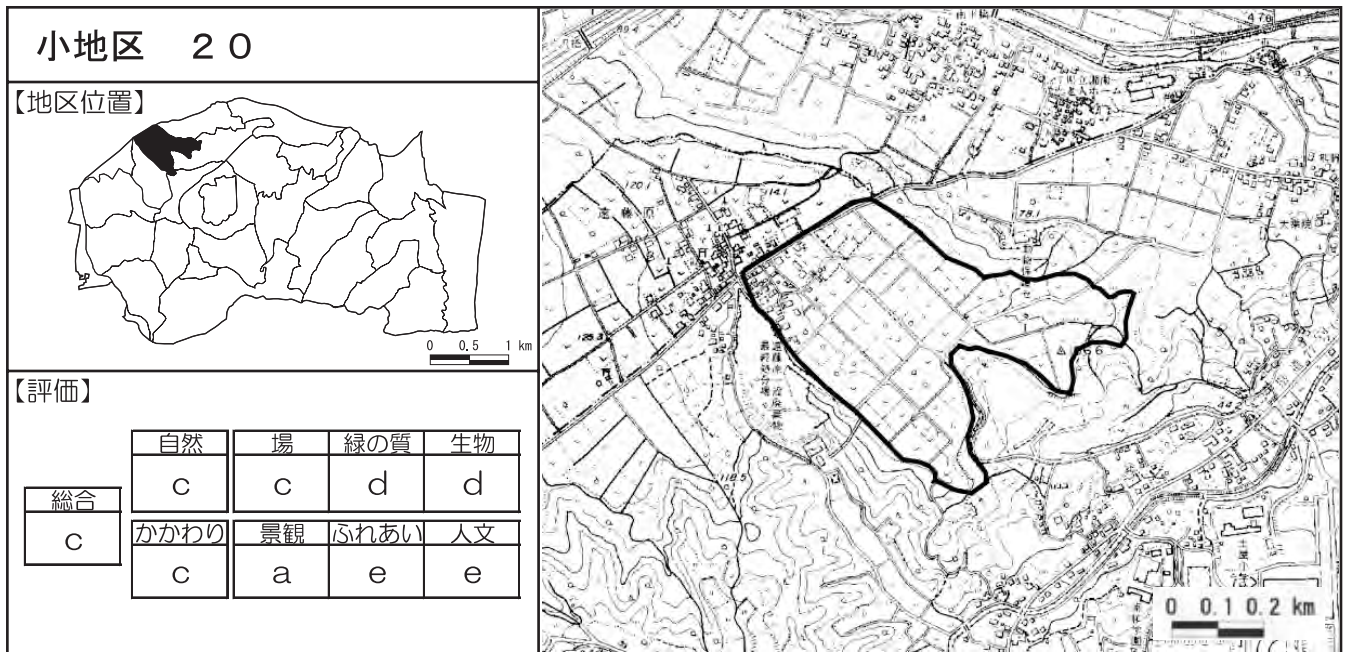


川と緑のそよ風ロード 2005年9月16日撮影

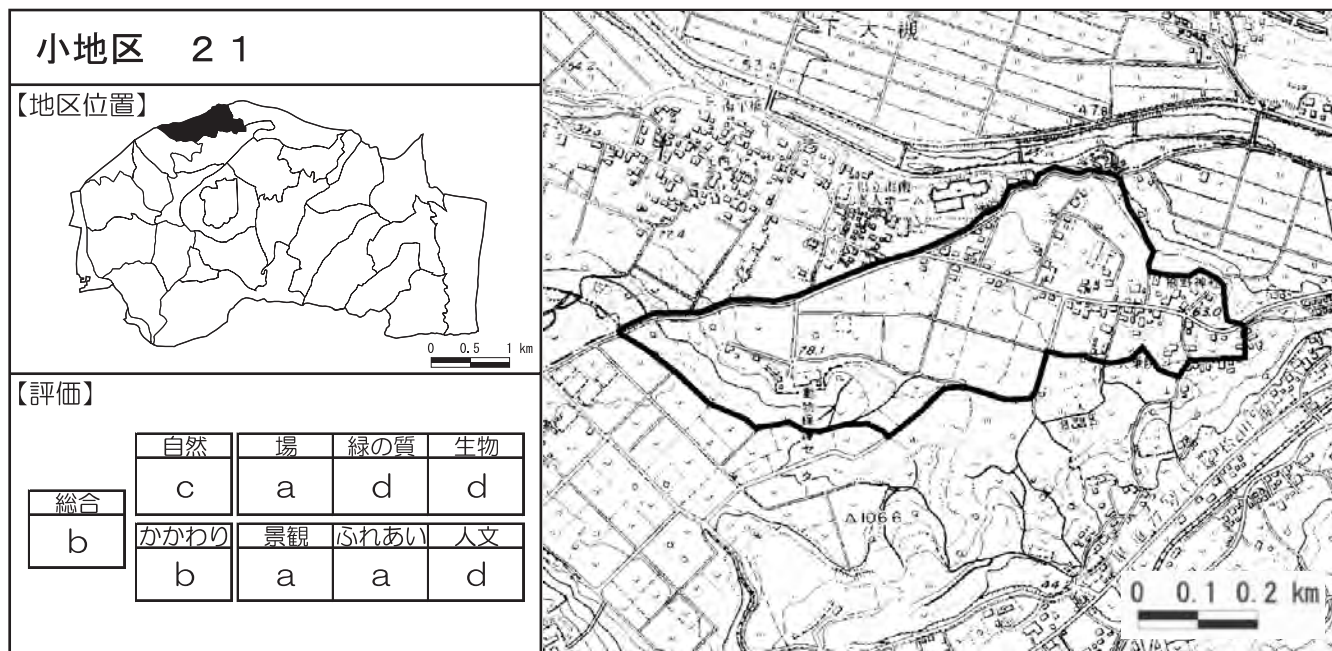


関東ふれあいの道 2005年9月17日撮影

	内 容
景 観	<p>里山景観要素の割合が90.6%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が67.9%と多く、樹林が13.2%である。</p> <p>地区の25.8%が地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>【散策路】『湘南ひらつかやすらぎ回廊』 (「川と緑のそよかぜロード」、「緑と文化の湘南丘陵の道」) 『関東ふれあいの道』</p> <p>【展望地点】なし</p> <p>【自然体験フィールド】なし</p> <p>【自然観察場所】 小地区21の熊野神社周辺および熊野神社から神奈川県動物保護センターに至る道沿いが利用されている。</p> <p>【自然とのふれあい施設】なし</p>
人 文	<p>【道祖神】熊野神社周辺、神奈川県動物保護センター周辺の2箇所にある。</p> <p>【水神】なし</p> <p>【史跡】比丘尼(びくに)塚、三之塚(山王塚)</p> <p>【保全樹】なし</p> <p>【指定文化財】なし</p> <p>【社寺】熊野神社、大乘院</p> <p>【湧水】なし</p> <p>【滝】なし</p>
 	
<p>大乘院 2006年3月17日撮影</p> <p>道祖神 2005年9月17日撮影</p>	



	内 容
総合評価	畑地を主体とする自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少なく、人文資源も少ない。里山らしさがある程度残されている。
自然評価 総評	地域の地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。 畑地が広がり樹林は少ないため、おもに、草地を好む指標種が生息、生育している。里山の自然を縁どる農地が広く存在する。
人との かかわり 評価総評	畑地を主体とする里山の景観がよく残されている。 散策路があるが、畑地が主体のため、人とのふれあいの場としての利用は少ない。 比丘尼塚、三之塚（山王塚）があるが、まとまった集落が存在しないため、人文資源は少ない。
景 観	里山景観要素の割合が 90.1%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 76.9%を占め、畑地の中に樹林 10.8%が散在している。 地区の 51.0%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区北西の中井町との境界に沿って、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「緑と文化の湘南丘陵の道」が選定されている。
人 文	史跡は、地区中央の畑の中に比丘尼塚、三之塚（山王塚）がある。



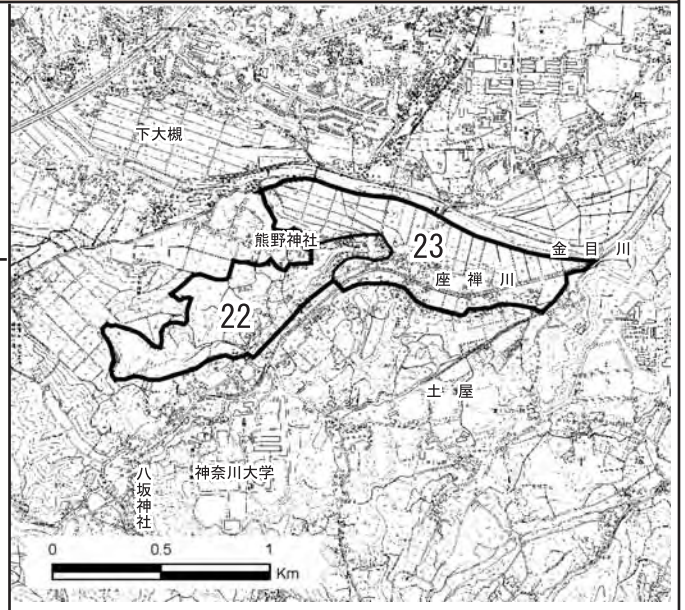
	内 容
総合評価	畑地と集落が近接する自然と景観がみられる。人文資源は少ないが、主要な人とのふれあいの場となっている。里山らしさが比較的良好に残されている。
自然評価 総合評	平坦面は遠藤原台地の中核をなす。段丘崖には帯状に樹林が続き、緑の中核となる。 畑地が広がり樹林は少ないため、おもに、草地を好む指標種が生息、生育している。里山の自然を縁どる農地が広く存在する。
人との かかわり 評価総評	畑地と集落が近接する里山の景観がよく残されている。 散策路が複数あり、地区の一部で自然観察場所としての利用もなされ、主要な人とのふれあいの場となっている。 道祖神、熊野神社、大乘院などの人文資源がある。
景 観	里山景観要素の割合が 91.0%と高く、里山の景観がよく残されている。畑地が 59.3%と多く、その他、樹林 15.5%、古くからの集落の住宅地 14.8%などがみられる。 地区の 1.9%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区西側の遠藤原から熊野神社前を通り、東側に至る道が『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「緑と文化の湘南丘陵の道」に選定されており、熊野神社の西側を通り、南北にのびている道は「川と緑のそよかぜロード」に選定されている。『関東ふれあいの道』は、遠藤原から熊野神社前と大乘院前を通り、南側にある県道 77 号線に至る道が選定されている。 自然観察場所は、熊野神社周辺および熊野神社から神奈川県動物保護センターに至る道沿いが利用されている。
人 文	道祖神は、熊野神社周辺、神奈川県動物保護センター周辺の 2 箇所にある。 社寺は、旧土屋村全体の鎮守で「おくまんさま」と呼ばれている熊野神社、天台宗の古寺で土屋三郎宗遠が再建したとされる大乘院がある。

大地区V 金目川低地

【評価】

	自然	場	緑の質	生物
総合	B	B	C	B
B	人とのかわり	景観	ふれあい	人文
	B	B	B	C

【地区位置】





	内 容
総合評価	農地、樹林、集落が近接した自然と景観がみられる。人とのふれあいの場としての利用は少ないが、人文資源がある。里山らしさが比較的よく残されている。
自然評価 総評	金目川沿いの低地とそれに面する斜面からなる地区である。低地はおもに畑地と水田が広がり、斜面には二次林が分布している。 樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育しており、地域では、まれな河川沿いの生態系を形づくっている。
人との かわり 評価総評	農地、樹林、集落が近接した里山の景観が残されている。複数の散策路が通過する。自然体験フィールドでは、雑木林の管理や農業体験の場として年間を通して活動が活発に行われている。 道祖神、水神、史跡、社寺、湧水などの人文資源がある。

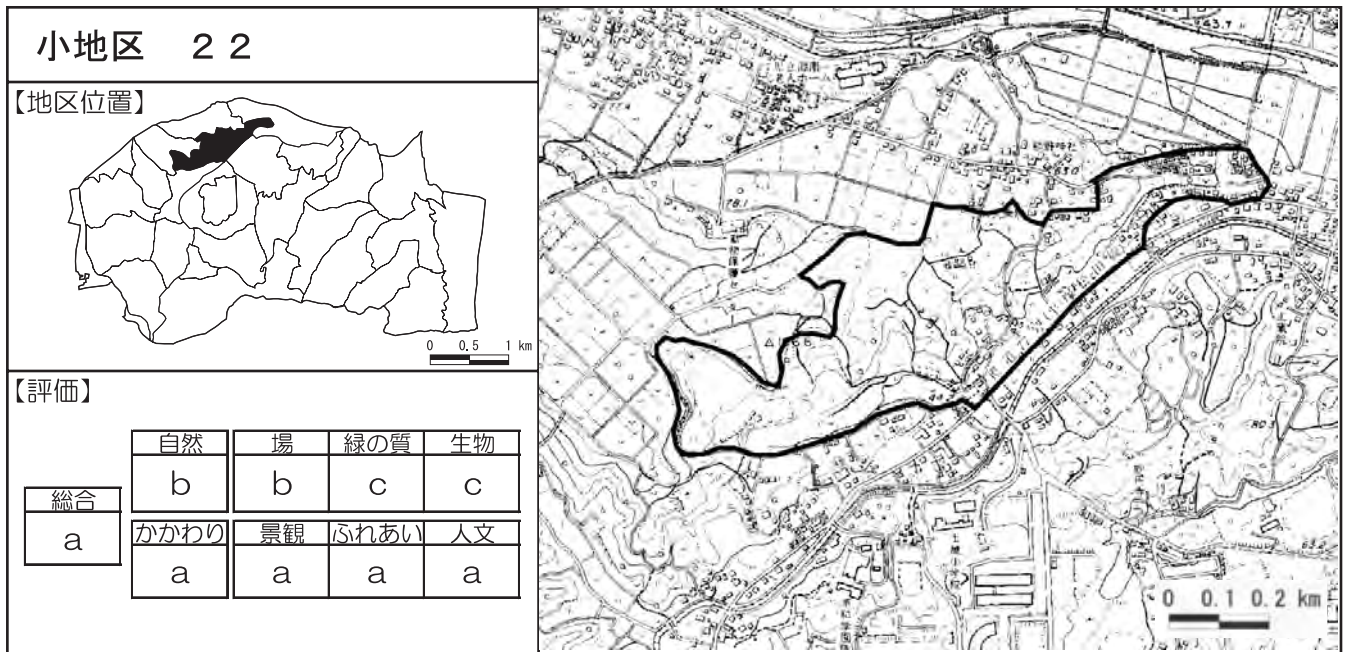


自然体験フィールド（雑木林でシーソーを楽しむ）

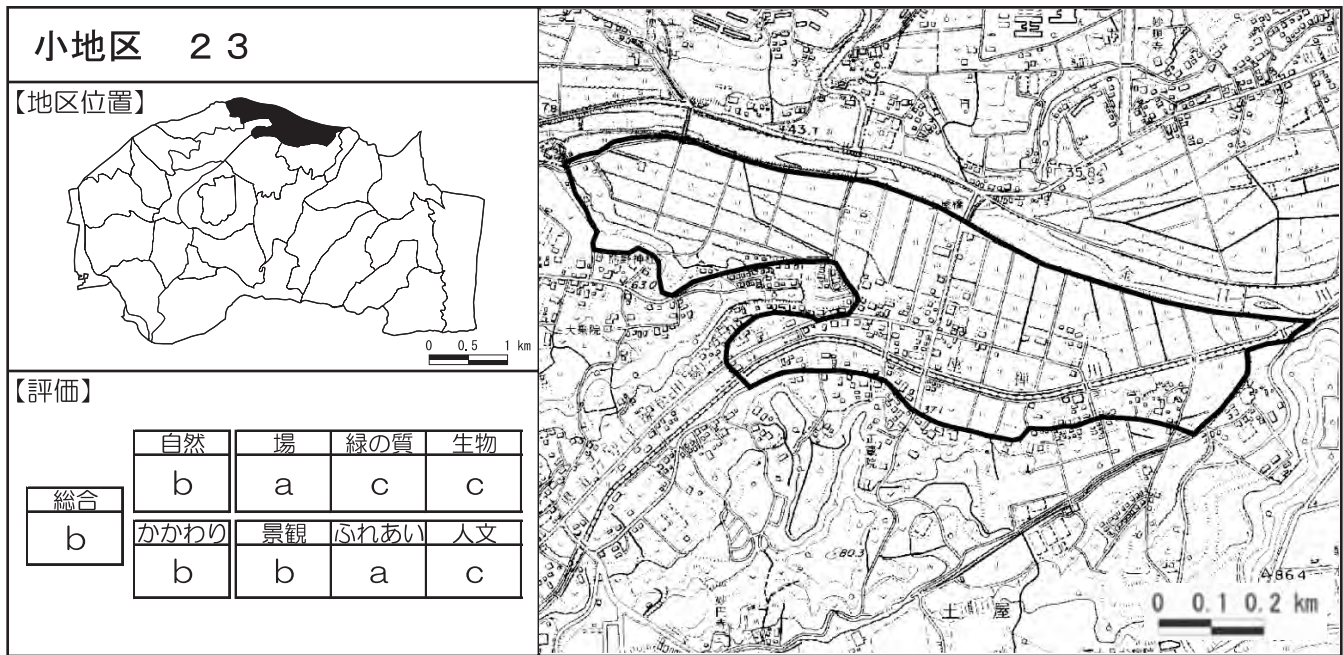


水田での自然観察会の様子 2005年6月5日撮影

	内 容
景 観	<p>里山景観要素の割合が76.8%とやや高く、里山の景観が比較的よく残されている。畑地が33.0%と多く、その他、耕地整備された水田11.6%、古い集落の住宅地16.0%、樹林14.5%などがみられる。</p> <p>地区内の源水の斜面林と、熊野神社裏の斜面林は合わせて市域の39.8%から眺望できる。</p> <p>地区の34.5%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。</p>
ふれあい	<p>【散策路】『湘南ひらつかやすらぎ回廊』 「川と緑のそよかぜロード」、「近未来へのこもれびロード」、 「緑と文化の湘南丘陵の道」、「花といにしへの田園散歩道」 『関東ふれあいの道』</p> <p>【展望地点】なし</p> <p>【自然体験フィールド】 源水の丘陵地が「里山をよみがえらせる会」の活動場所として年間を通して活動が活発に行われている。</p> <p>【自然観察場所】 小地区22の北側の道の一部、座禅川周辺と金目川の右岸を含む小地区23のほぼ全域が利用されている。</p> <p>【自然とのふれあい施設】なし</p>
人 文	<p>【道祖神】小地区22の集落周辺および座禅川沿いに6箇所ある。</p> <p>【水神】源水</p> <p>【史跡】水呑地藏、土屋城跡（土屋の館跡）、土屋一族の墓</p> <p>【保全樹】なし</p> <p>【指定文化財】なし</p> <p>【社寺】木舟神社（明神社）、若宮八幡神社、根岸稲荷大明神</p> <p>【湧水】熊野神社の北斜面下と座禅川沿いの私有地に自噴の湧水がある。</p> <p>【滝】なし</p>
	
川と緑のそよ風ロード 2005年9月16日撮影	源水の水神 2004年10月21日撮影



	内 容
総 合 評 価	比較的良好な自然と景観がみられる。主要な人とのふれあいの場となっており、人文資源も豊富である。里山らしさがよく残されている。
自然評価 総 評	丘陵斜面の樹林がまとまりのある緑を形成している。 斜面には、二次林が帯状に続き、それを畑地が囲んでいる。低地の水田には、わずかながら素掘り水路もある。樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、比較的良好な里山の自然が残されている。
人との かかわり 評価総評	樹林、農地、集落が近接した里山の景観がよく残されている。 自然散策路、自然体験フィールドがあり、地区の一部で自然観察場所としての利用もなされ、主要な人とのふれあいの場となっている。 水呑地藏、土屋城跡、木舟神社、若宮八幡神社などの人文資源が豊富である。
景 観	里山景観要素の割合が 84.8%と高く、里山の景観がよく残されている。低地に古くからの集落の住宅地 16.8%や草地 11.4%、斜面に樹林 27.8%、斜面上部の平坦地には畑地 24.4%がみられる。地区内の斜面林は、市域の 39.5%から眺望できる。 地区の 69.2%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	熊野神社前から大乘院前を通り、県道 77 号線に至る道が、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「川と緑のそよかぜロード」と『関東ふれあいの道』、熊野神社前から地区東側に至る道が、「緑と文化の湘南丘陵の道」に選定されている。 自然体験フィールドは、源水の丘陵地が、「里山をよみがえらせる会」の活動場所として、雑木林の管理や農業体験の場として活発に利用されている。自然観察場所は、地区北側の道の一部が利用されている。
人 文	道祖神は、集落周辺に 4 箇所ある。水神は、源水に 1 箇所祀られている。 史跡は、水呑地藏、土屋城跡、土屋一族の墓がある。 社寺は、鎌倉時代に土屋三郎宗遠が出陣の際に祈願したといわれる木舟神社（明神社）と、かつて流鏝馬が行われていた若宮八幡神社がある。



内 容	
総合評価	川沿いの低地に広がる農地を主体とする自然と景観がみられる。主要な人とのふれあいの場となっており、人文資源もある。里山らしさが比較的良好に残されている。
自然評価 総 評	低地が金目川に沿って広がっている。地区辺縁にある段丘崖には、帯状に樹林が続き、地域の緑の中核となる。おもに畑地と水田からなり、水辺、草地の指標種が生息、生育している。西部丘陵地域ではまれな、河川を中心とする生態系の一翼を担う。
人との かかわり 評価総評	農地を主体とする里山の景観が比較的良好に残されている。 複数の散策路があり、地区のほぼ全域が自然観察場所としての利用もなされ、主要な人とのふれあいの場となっている。 道祖神、根岸稻荷大明神、湧水などの人文資源がある。
景 観	里山景観要素の割合が 70.8%とやや高く、里山の景観が比較的良好に残されている。畑地 39.5%と耕地整備された水田 20.4%が広がり、古くからの集落の住宅地 15.5%もみられる。地区内の斜面林は、市域の 23.4%から眺望できる。 地区の 8.1%が、地域外の都市景観が視界に入らない領域である。
ふれあい	地区北側の金目川沿いの道は、『湘南ひらつかやすらぎ回廊』の「川と緑のそよかぜロード」に選定されており、土屋橋から東側は「近未来へのこもれびロード」、「花といにしえの田園散歩道」にも選定されている。熊野神社前から東側にのびる道は、「緑と文化の湘南丘陵の道」に選定されており、地区の中央部に北側に向かい金目川沿いに東へのびている。 自然観察場所は、座禅川と金目川周辺のほぼ全域が利用されている。
人 文	道祖神は、座禅川に沿って2箇所ある。 社寺は、下庶子分にお稻荷さまである根岸稻荷大明神がある。 湧水は、熊野神社の北斜面下に弁天様として祀られている湧水と座禅川沿いの個人宅に自噴の湧水がある。